

## 【概要】

- 新規採用薬①本採用 : ダーブロック錠 / ロケルマ  
新規採用薬②患者限定採用 : ボセンタン / ホスアプレピタント / レンビマ / 黄連解毒湯  
ミニリンメルト / ヒスロンH  
新規採用薬③次回再検討 : デエビゴ
- 供給状況(出荷調整) : ライゾデグ配合注 / アゾセמיד
- 採用変更 : 別紙参照
- 添付文書変更 : オプジーボ注 / タリージェ錠 / パージェタ注 / ハーセプチン注
- 添付資料

## 1. 新規採用

## ①本採用

## HIF-PH 阻害薬

ダーブロック錠 1mg 102.70 円/錠	ダーブロック錠 6mg 431.30 円/錠(協和キリン)
------------------------	-------------------------------

【診療科名】 腎臓内科

【申請医師名】 菊池史

【申請理由】

腎性貧血に対する新しい薬剤で、ESA 製剤とは異なる作用機序で腎性貧血を改善する。ESA 製剤でなかなか貧血が改善しない、所謂エリスロポエチン抵抗性貧血に対しての効果が期待できる。ESA 製剤のような静脈内投与・皮下投与ではない内服薬であり、保存期腎性貧不全患者に投与する場合、皮下投与による疼痛が回避できる。

現在採用されているエベレンゾ錠は週3回の内服であるが、ダーブロック錠は1日1回のため服用しやすく、アドヒアランスの向上も期待できる。今まで院外処方使っていたが、診療報酬改定に伴い院内処方となった。そのため、全ての剤形を採用していただきたい。

【組成】 ダプロデュスタット

【警告】 本剤投与中に、脳梗塞、心筋梗塞、肺塞栓等の重篤な血栓塞栓症があらわれ、死亡に至るおそれがある。本剤の投与開始前に、脳梗塞、心筋梗塞、肺塞栓等の合併症及び既往歴の有無等を含めた血栓塞栓症のリスクを評価した上で、本剤の投与の可否を慎重に判断すること。また、本剤投与中は、患者の状態を十分に観察し、血栓塞栓症が疑われる徴候や症状の発現に注意すること。血栓塞栓症が疑われる症状があらわれた場合には、速やかに医療機関を受診するよう患者を指導すること。

【効能効果】 腎性貧血

【用法用量】

## ①保存期慢性腎臓病患者

・赤血球造血刺激因子製剤で未治療の場合

1回 2mg 又は 4mg を開始用量とし、1日1回経口投与する。以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、最高用量は1日1回 24mg までとする。

・赤血球造血刺激因子製剤から切り替える場合

1回 4mg を開始用量とし、1日1回経口投与する。以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、最高用量は1日1回 24mg までとする。

## ②透析患者

1回 4mg を開始用量とし、1日1回経口投与する。以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、最高用量は1日1回 24mg までとする。

## 【腎臓内科限定・緊急時のみ限定使用】 高カリウム血症改善剤

ロケルマ懸濁用散分包 5g 1,069.3 円/包(アストラゼネカ)
------------------------------------

【診療科名】 腎臓内科

【申請医師名】 菊池史

【申請理由】

救急患者で緊急透析の前になるべく早急にかリウムを下げたい症例が続いています。

既存の薬剤よりカリウム低下作用が強いと言われています。多くの症例で使うことはないと思いますが、院外薬局が閉まった時間帯での使用があると思いますので、院内処方での採用もご検討お願いします。

【組成】 ジルコニウムシクロケイ酸ナトリウム水和物

【効能効果】 高カリウム血症

【用法用量】

①開始用量として1回10gを水で懸濁して1日3回、2日間経口投与する。なお、血清カリウム値や患者の状態に応じて、最長3日間まで経口投与できる。以後は、1回5gを水で懸濁して1日1回経口投与する。なお、血清カリウム値や患者の状態に応じて適宜増減するが、最高用量は1日1回15gまでとする。

②血液透析施行中の場合には、通常、1回5gを水で懸濁して非透析日に1日1回経口投与する。

なお、最大透析間隔後の透析前の血清カリウム値や患者の状態に応じて適宜増減するが、最高用量は1日1回15gまでとする。

## ②患者限定採用

【患者限定採用】エンドセリン受容体拮抗薬

ボセンタン錠 62.5mg「ファイザー」 720.7 円/錠(ファイザー)

【診療科名】 循環器内科

【申請医師名】 廣瀬瑞紀

【申請理由】

肺高血圧症で PGI<sub>2</sub> 製剤、PDE-5 阻害薬使用中も効果不十分のためエンドセリン受容体機構薬の追加投与が必要。透析中患者のためトラクリア(先発名)使用予定。

【先発薬剤名】 トラクリア

【組成】 ボセンタン水和物

【効能効果】 肺動脈性肺高血圧症(WHO 機能分類クラスⅡ、Ⅲ及びⅣ)

【患者限定採用】 選択的 NK1 受容体拮抗型制吐剤

ホスアプレピタント点滴静注用 150mg「NK」 5734.0 円/瓶(日本化薬)

【診療科名】 外科

【申請医師名】 星野明弘

【申請理由】 イメンドが内服できないため

【組成】 ホスアプレピタントメグルミン

【効能効果】 抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)(遅発期を含む)

【患者限定採用】抗悪性腫瘍剤

レンビマカプセル 4mg 4025.5 円/錠 レンビマカプセル 10mg 9517.6 円/錠(エーザイ)

【診療科名】 外科

【申請医師名】 藤野啓一

【申請理由】 HCC 骨転移のため

【組成】 レンバチニブメシル酸塩

【効能効果】

4 mgのみ:切除不能な肝細胞癌

4/10 mg:根治切除不能な甲状腺癌、切除不能な胸腺癌、がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の子宮体癌、根治切除不能又は転移性の腎細胞癌

【院外患者限定採用】脳下垂体ホルモン剤

ミニリンメルト OD 錠 60 μg 93.0 円/錠(キッセイ薬品)

【診療科名】 糖尿病内科

【申請医師名】 稲田遼吾

【申請理由】 代替経口薬がないため

【組成】 デスモプレシン酢酸塩水和物

【効能効果】 中枢性尿崩症

**【患者限定採用】漢方製剤****ツムラ黄連解毒湯エキス顆粒(医療用) 14.20 円/g(ツムラ)**

【診療科名】 泌尿器科

【申請医師名】 柳澤良三

【申請理由】

難治の出血性膀胱炎に対し止血効果が報告されている。現在、保存療法に抵抗性出血性膀胱炎で連日出血コアグラタンポナーゼ状態のため至急採用を。

【組成】

本品 7.5g 中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス 1.5g を含有する。

日局オウゴン 3.0g 日局オウレン 2.0g

日局サンシシ 2.0g 日局オウバク 1.5g

【効能効果】

比較的体力があり、のぼせがみで顔色赤く、いらいらする傾向のある次の諸症

鼻出血、高血圧、不眠症、ノイローゼ、胃炎、二日酔、血の道症、めまい、動悸、湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症

**【患者限定採用】抗悪性腫瘍経口黄体ホルモン製剤****ヒスロンH錠 200mg 171.9 円/錠(協和キリン)**

【診療科名】 乳腺外科

【申請医師名】 日野眞子

【申請理由】

左乳癌の再発(肝転移、骨転移)で治療中の方です。アロマターゼ阻害剤はすべて使用済(エキセメスタン→フェマラー→アリミデックス→フェマラー+イブランス)、トレミフェン、フェソロデックスも使用しPDとなっています。腹水貯留と腎機能障害もあり化学療法も予定通り施行できない状況のため、上記薬剤の使用を考慮しました。600 mg/日から開始し、1200 mg/日までUP 予定です。

【組成】 メドロキシプロゲステロン酢酸エステル

【効能効果】 乳癌、子宮体癌(内膜癌)

**③次回薬事委員会にて再検討****不眠症治療薬****デエビゴ錠 5 mg 90.8 円/錠(エーザイ)**

【診療科名】 泌尿器科

【申請医師名】 柳澤良三

【申請理由】

現在、不眠症治療薬にはBZ、非BZ、メラトニン受容体作動薬およびオレキシン受容体拮抗薬の4系統がある。BZ・非BZは半年～1年の長期投与での身体依存症持ち越し効果の問題、メラトニン受容体作動薬は効果が弱く補助的にしか使用できない欠点がある。デエビゴは剤形が3段階となり用量調節が高齢者にも十分可能であり持ち越し効果がベルソムラに対して少なく、さらに長期使用でも身体依存症ときたさないことが証明されている。特に高齢者における不眠による夜間頻尿に対しHUSの延長など有効性が高く、且つ、持ち越し効果が少なく、安全性が高い。

【組成】 レンボレキサント

【効能効果】 不眠症

【用法用量】 1日1回5mgを就寝直前に経口投与する。症状により適宜増減。1日1回10mgを超えない。

**2. 供給****1) 出荷調整**

・ライゾデグ配合注フレックスタッチ

→世界情勢の影響により、物流機能低下による輸入遅延のため出荷調整・停止が一時的に発生する見込み

**2) 出荷調整解除**

・アゾセミド錠 30 mg「JG」

### 3. 採用変更

2022年3月、院内採用医薬品の見直しを行いました。  
臨時採用医薬品に変更された薬剤一覧を添付致しました。(4/20 追記あり)

また、以下薬剤は、臨時採用品であり、在庫消尽等したためマスタを閉鎖致しました。

- ・ベスポンサ注（抗悪性腫瘍薬 / 1331297 円/瓶）
- ・アピドラ注ソロスター（超速効型インスリンアナログ製剤 / 1927 円/キット）
- ・オメプラゾール錠 10mg「アメル」（プロトンポンプ阻害薬 / 20.4 円/錠）
- ・オメプラゾール錠 20mg「アメル」（プロトンポンプ阻害薬 / 31.5 円/錠）
- ・カンサイダス点滴静注 70mg（キャンディン系抗真菌剤 / 23386 円/瓶）
- ・クレキサン皮下注キット 2000IU（血液凝固阻止剤 / 960 円/キット）
- ・ニフェジピンL錠 20mg「トーフ」（持続性 Ca 拮抗剤 / 5.7 円/錠）
- ・ノルspanテープ 10mg（持続性疼痛治療剤 / 2440.1 円/枚）
- ・ビオフェルミンR散（耐性乳酸菌整腸剤 / 6.3 円/g）
- ・ビオフェルミンR錠（耐性乳酸菌整腸剤 / 5.9 円/g）
- ・ビクトーザ皮下注（ヒト GLP-1 アナログ注射液 / 10359 円/キット）
- ・ベオバ錠 50mg（選択的  $\beta 3$  アドレナリン受容体作動性過活動膀胱治療剤 / 177.1 円/錠）
- ・ユベラ錠 50mg（トコフェロール酢酸エステル製剤 / 5.7 円/錠）

### 4. 添付文書改訂

オプジーボ点滴静注 20mg,100mg,120mg,240mg  
効能・効果 尿路上皮癌における術後補助療法 を追加。

タリージェ錠 2.5mg,5mg,10mg,15mg  
効能・効果 下記 を変更。(下線部:変更箇所)  
末梢性神経障害性疼痛 → 神経障害性疼痛

パージェタ点滴静注 420mg/14mL  
効能・効果 がん化学療法後に増悪した HER2 陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌 を追加。

ハーセプチン注射用 60,150  
効能・効果 がん化学療法後に増悪した HER2 陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌 を追加。

### 5. 添付資料

院内採用薬の供給停止・出荷調整薬について(2022年4月28日更新)  
医薬品医療機器等安全性情報 No.391  
医療安全情報 No.185  
2022年4月より臨時採用医薬品となる薬剤一覧(2022年4月追記あり)